



AREC

ASAMA Research Extension Center

くらしふと信州 くらしふとカンファレンス2026 AREC GX推進・脱炭素経営研究会について

GX推進・脱炭素経営研究会 会長 水出博司

日置電機株式会社 総務本部 経営企画部 サステナビリティ担当

目次

- 自己紹介
- AREC
浅間リサーチエクステンションセンター
- GX推進・脱炭素経営研究会の目的
- 活動内容
- トピックス

自己紹介

- ・ 名前：水出博司
- ・ 所属：日置電機株式会社
経営企画部



2015年松本零士先生と
「地球は萎んでいる」
萎んでいるから気流・海流も変わっている？

専門領域 (やってきた事)

CAD/CAE

PDM/PLM

PM

改革/改善

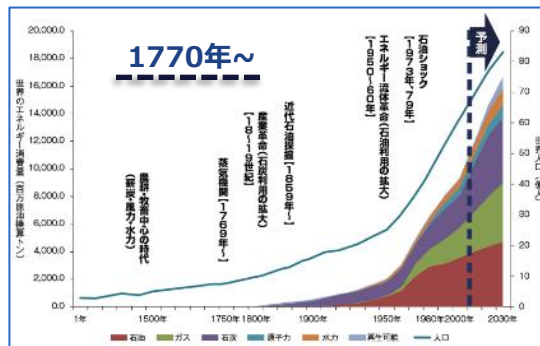
産業創出

マーケティング

業務プロセス

教育

サステナビリティ



出典：https://www.enecho.meti.go.jp/about/whitepaper/2013html/1-1-1.html

AREC 浅间リサーチエクステンションセンターについて

AREC会員数：法人会員326社、賛助会員115団体（2026現在）
講演会・セミナー・フォーラム等のイベント開催実績累計：1155回、
内、リレー講演会284回（R7年度末）

沿革

2000年 07月 上田地域産学官連携推進協議会設立

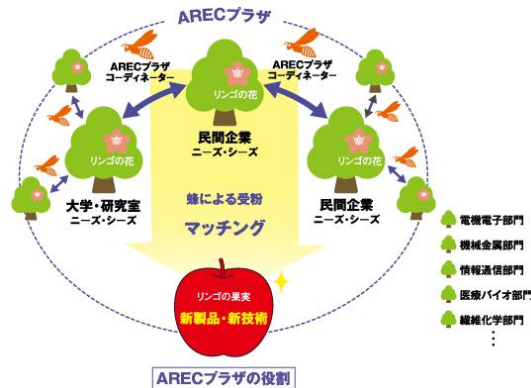
2002年 02月 上田市産学官連携支援施設(AREC)竣工

<https://arecplaza.jp/about-2/about>

AREC・Fiiプラザには長野県内はもとより県外を含めた多様な企業、大学、公的機関などが集まっています。このようなネットワークを活かして産学間連携を推進し、地域振興に取り組んでいます。

企業と大学間の技術相談の促進による産学共同研究プロジェクトの支援、企業間連携の推進による新たなビジネス機会の創出、技術開発や知的財産に関する情報提供、補助金申請支援、各種セミナーを通じた人材育成など、地域の企業の成長と発展をサポートしています。

また、東信州次世代産業振興協議会をAREC内に設立し、東信州地域に集積する技術や地域特性を活かした産学官連携による次世代産業創出や地域産業の活性化を目指しています。



AREC・Fiiプラザ 事業内容（企業同士のマッチング）

AREC・Fiiプラザは、ニーズとシーズを結び、地域に大きな収穫をもたらします
 AREC・Fiiプラザにはたくさんの民間企業と大学研究室が集まっています。
 企業が必要とする研究シーズを大学から選び出し、マッチングさせる。
 企業のニーズを引き出して、大学の研究と融合させる。
 会員の交流をベースにして、企業同士のマッチングを行いながら、実に多種多様な成果を産み出しています。

事業内容

産学・企業間連携



リレー講演会
 事業報告会・質詞交歓会
 ものづくりパートナーフォーラム
 産学交流ラウンジ
 オンラインdeサロン
 企業見学会
 大学保有設備の利用

相談支援



技術相談
 公的補助金申請支援
 地域企業専門家派遣事業
 新事業の企画支援・調査受託

人材確保・人材育成



生産性向上支援訓練
 各種セミナー
 大学と県内企業との情報交換会
 地域人材バンクながの
 特定技能1号登録支援機関

その他事業



創業支援事業
 移住支援事業
 保険代理店業務
 東信州DX大学
 脱炭素経営研究会
 建設発生活活用研究会

GX推進 脱炭素経営研究会の発足

- 2023年3月：AREC会員企業の呼びかけで発足・キックオフ
- 2023年4月：令和5年度、上田市地方創生実践プラットフォーム
基盤強化事業の助成を受けて活動開始
- 2025年4月：令和7年度、上田市未来創生GX推進事業の助成を
受けて活動継続名称を「GX推進・脱炭素経営研究会」に変更

<https://www.city.ueda.nagano.jp/uploaded/attachment/75726.pdf>

■ 会員企業：22社（プライム：県内本社4社+県外本社2社）

会長：水出博司 日置電機株式会社

副会長：宮原章雄 山洋電気株式会社

：宮澤淳 エムケー精工株式会社

：遠藤信幸 株式会社八十二長野銀行

事務局：高橋信介 滝沢一秀

一般財団法人浅間リサーチエクステンションセンター

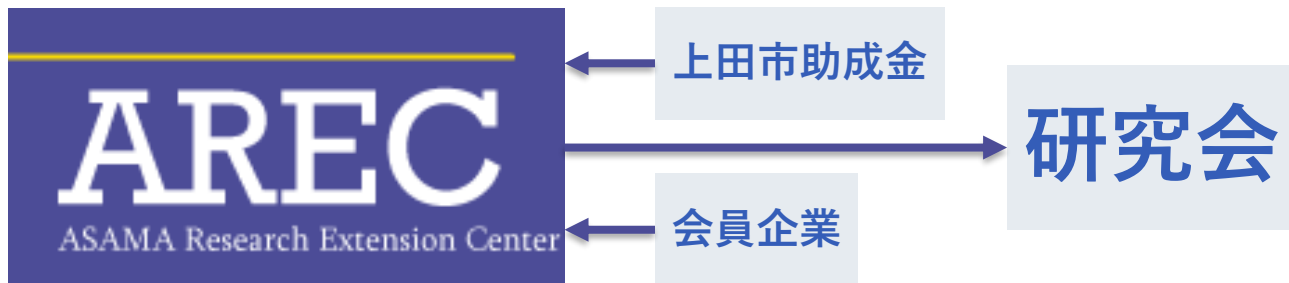
石川達也 上田市産業振興部 商工課 次世代産業支援

アドバイザー：村上奏 信州大学繊維学部 学部長

高橋伸英 信州大学繊維学部 化学・材料学科 教授

GX推進 脱炭素経営研究会の目的（真の仲間づくり）

- ・ 仲間を作って、補填し合わなければ、お金はいくらあっても足りない。
- ・ 仲間たちの知恵で脱炭素の課題を乗り越えるための組織を、AREC内に結成。



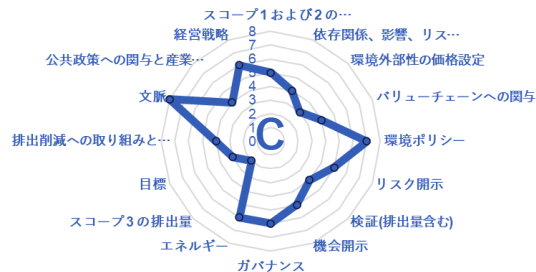
GX推進 脱炭素経営研究会の目的（真の仲間づくり）

- ・ 脱炭素：サステナビリティ対応の緊迫
 - ・ 手を動かさないコンサルたちの法外な価格設定
 - ・ 実務に会わない補助金制度・そもそもそんなものは無い
 - ・ それでも進めなければ、世界から選ばれる会社になれない
- ・ **長野県は助けてくれますか？ = NO！ ではどうする？**



活動内容、概ね4回/年（詳細はHPで閲覧）

- ・ 2023年03月22日(水)第1回：70名参加
- ・ 2023年05月18日(木)第2回：87名参加
- ・ 2023年07月20日(木)第3回：51名参加
- ・ 2023年08月02日(水)敦賀市事例講演：日置電機で開催
- ・ 2023年09月27日(水)第4回：42名参加
- ・ 2023年10月05日(木)ソーラーシェアリング視察会
- ・ 2023年11月16日(木)第5回：84名参加
- ・ 2024年01月16日(火)第6回：NICE連携：33名参加
- ・ 2024年03月21日(木)第7回：41名参加
- ・ 2024年06月13日(木)第8回：37名参加
- ・ 2024年07月30日(火)CDP特別講習会：日置電機で開催
- ・ 2024年08月08日(木)第9回：63名参加
- ・ 2024年10月28日(月)生物多様性講習：日置電機で開催
- ・ 2024年11月13日(水)第10回：47名参加
- ・ 2024年11月18日(月)COP29サイトツアー実施（ドバイ：Web）
- ・ 2024年11月20日(水)Nearly ZEB 見学会：角藤で開催
- ・ 2025年03月21日(金)第11回：32名参加
- ・ 2025年06月27日(金)第12回：GX推進として再起動：48名参加
- ・ 2025年07月22日(火)CDP特別講習会：日置電機で開催
- ・ 2025年08月07日(木)第13回：49名参加
- ・ 2025年11月27日(木)第14回：40名参加
- ・ 2026年03月10日(火)第15回：？



日置電機の実例

2024年気候変動C
2024年SEA B
2025年気候変動B
2025年SEA A

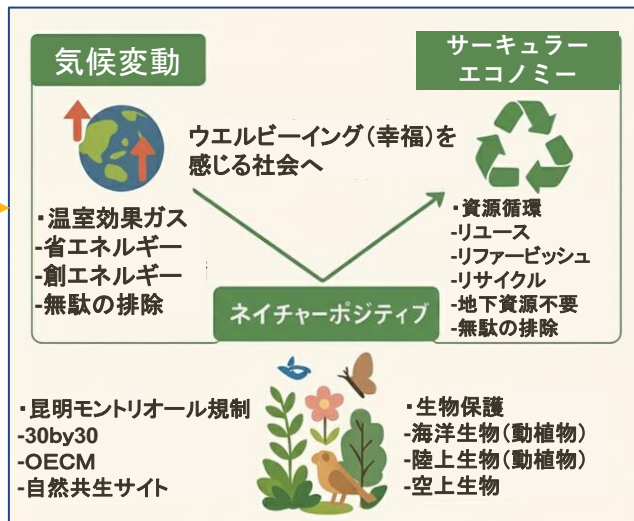
CDP勉強会では
各社の弱みを引き上
げる方法等もディス
カッション

<https://arecplaza.jp/datsutanso>

サステナビリティ（環境）3軸同時運用必須

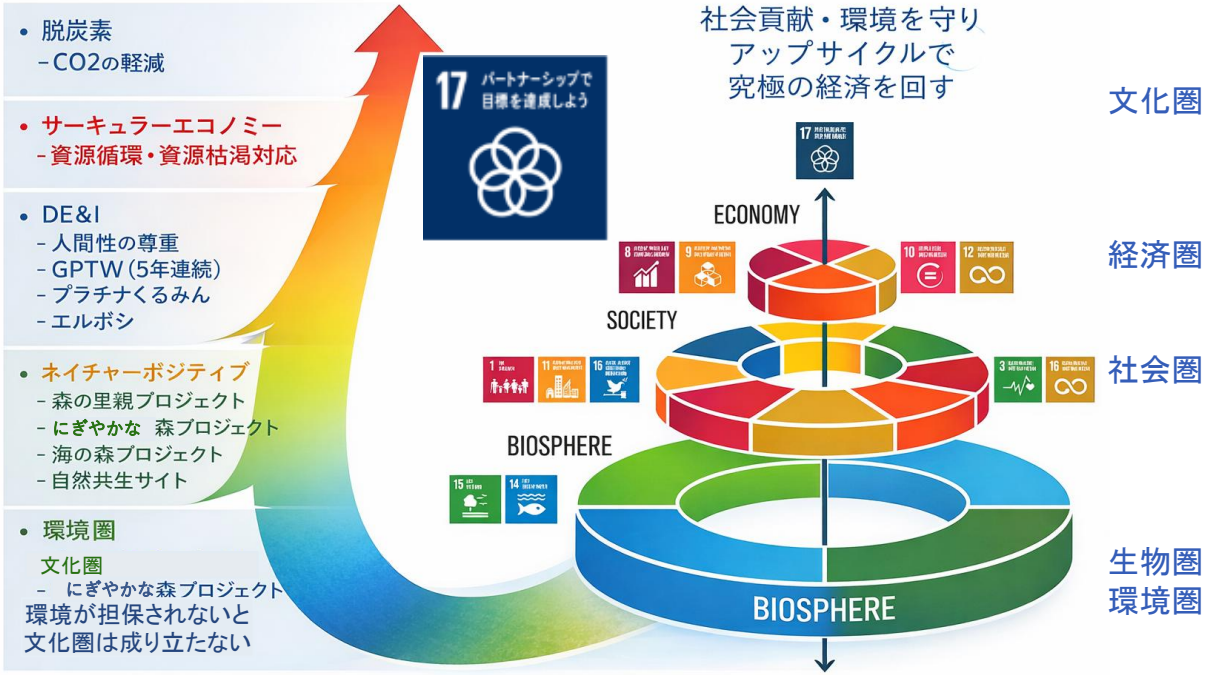


国連グローバルコンパクト
4分野10原則に順守する



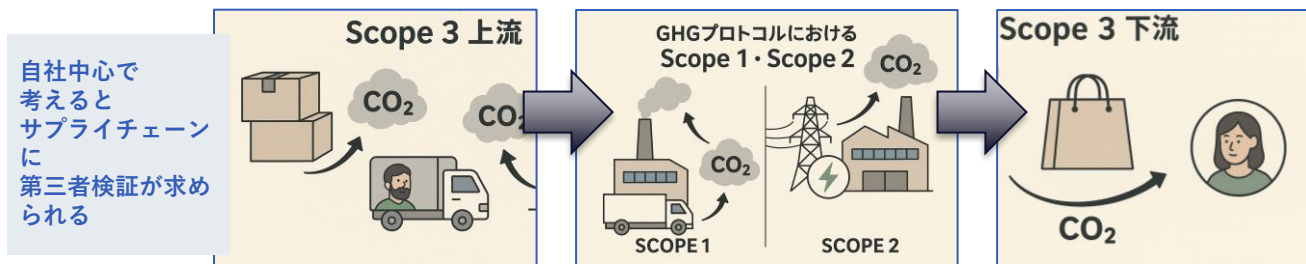
自然共生サイト認定
有価証券報告書にTNFD開示

サステナブルキャピタリズムとウェディングケーキモデル



CFP算出に向けた第三者検証の必要性

HIOKIでは2026年前カテゴリーの検証が終了・ノウハウを自社サプライチェーンと会員企業へ伝授する事を例会の中で宣言



自社中心で考えるとサプライチェーンに第三者検証が求められる

実行者	S3上流	S1・S2	S3下流
自社 (第三者検証必須)	D 人 ・ 部品は物量で算出 ・ 購入品の輸送算出	D 人 ・ 創エネ・省エネ ・ CH ₄ /N ₂ O/CFC等 ^{ZEB} の算出	D 人 ・ 消費電力/重量 ・ 寿命 (GAS) ・ 廃棄 (CE・資源化)
サプライチェーン (第三者検証必須)	金 援 人 ・ 要CFP第三者検証 (発注先からの要求) ※できなければ淘汰	・ 創エネ ・ 省エネ ・ 再エネ	人 ・ CFP要求 ・ アンケート調査要求
顧客 (LCA/DPP)			

上流の検証されたデータが必要

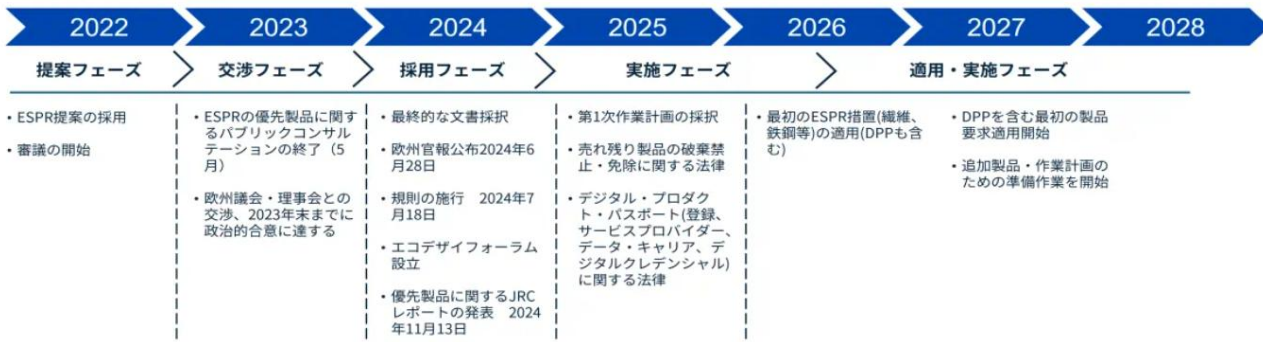
ESPRへの対応要求（エコデザイン規制）

- ・ TCFDはSSBJ（ISSB）S1 S2へ
- ・ TNFDの開示要求
- ・ DPPにおけるCFPの算出、ESPRの対応必須
- ・ PPWRの要求



どうします？国内外で手かせ足かせが増えるが、収入は増えない
企業だけでできる事、できない事 > 国も県ももっと騒いで協力を

ESPRの今後の予定



<https://www.tuvsud.com/ja-jp/resource-centre/stories/jp-espr>

サプライチェーンのスコアアップ必須 CDPとEcoVadis

研究会として、
CO2算出やCDP勉強会は
HIOKIが連携協定を結んだ
「(株)はたらクリエイト」とも連携

EcoVadisは会員企業と
ディスカッションを開始

本連携協定を通じて、HIOKIが培った温室効果ガスの算定方法等の知見を活用し、はたらクリエイトが展開するGX支援事業で、HIOKIをはじめとする地域企業の脱炭素経営をサポートする体制を構築することで、長野県東信地域にとどまらず、県内全域における脱炭素社会の実現を目指してまいります。

Ecovadis社のサステナビリティ評価（2025年）において「ブロンズメダル」を獲得



HIOKI（日置電機株式会社：長野県上田市、代表取締役社長：岡澤尊宏）は企業のサステナビリティ活動に関する国際的な評価機関であるEcoVadis（エコバディス）社（本社：フランス）が実施した2025年の調査において、評価対象企業の上位35%のみに授与される「ブロンズメダル」を獲得しました。

EcoVadis表彰ページ

当社は、2021年にEcoVadis社の評価において、従業員数100～999人規模（Mサイズ）で「シルバメダル」を獲得しました。

[EcoVadis社のサステナビリティ評価でシルバメダルを獲得](#)

今回の2025年評価では、事業規模の拡大に伴い、従業員数1,000人以上の企業を対象とするLサイズで評価を受けました。Lサイズには、より大規模でサステナビリティへの取り組みが高度な企業が多数含まれています。その中で受賞できたことは、当社の継続的な取り組みが一定の評価を得たものと受け止めています。



エプソン様は常にプラチナ

Thank you for your attention

皆さんで知恵を出し合いましょう

you 'll never walk alone

mizuide@hioki.com





<https://arecplaza.jp/>